

こどもの居場所 地域ネットワーク設立 スタートブック



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

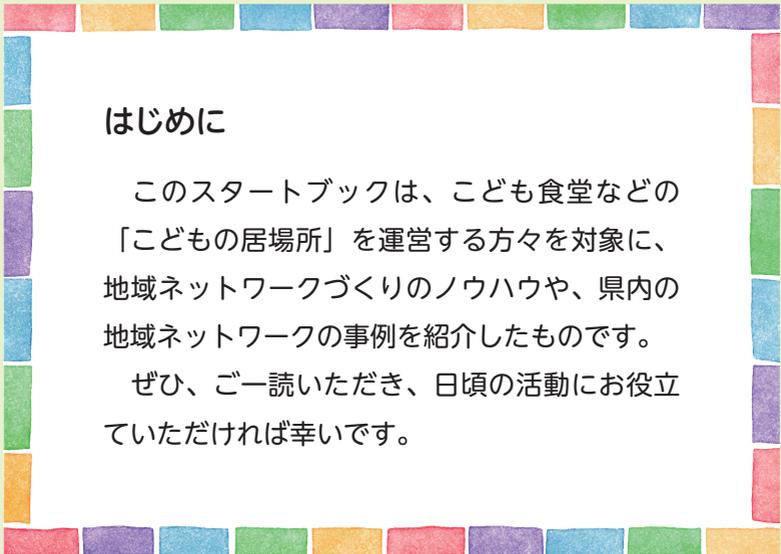


彩の国



埼玉県

Saitama Prefecture



はじめに

このスタートブックは、こども食堂などの「こどもの居場所」を運営する方々を対象に、地域ネットワークづくりのノウハウや、県内の地域ネットワークの事例を紹介したものです。

ぜひ、ご一読いただき、日頃の活動にお役立ていただければ幸いです。

目次

「こどもの居場所」と「地域ネットワーク」について	3
立ち上げ～安定的な運営までのアクション	4
地域ネットワークの紹介	5
地域ネットワーク 事例①「熊谷こどもまんなかネットワーク」	6
地域ネットワーク 事例②「行田こども居場所ネットワーク」	7
地域ネットワーク 事例③「加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会」	8
地域ネットワーク 事例④「こども食堂ネットワークいるま」	9
地域ネットワーク 事例⑤「戸田市こどもの居場所ネットワーク」	10
地域ネットワーク 事例⑥「越谷こどもサポートネットワーク」	11
支援企業	12・13
県の支援制度	14

「こどもの居場所」と「地域ネットワーク」について

地域が主体となって、子どもたちに食事や学習、遊びの場などを提供する「こどもの居場所」が今、県内で広がっています。

地域で困っている子ども達のために何かしたい、そんな思いを抱えた人達の手によって次々に居場所が立ち上がり、その数は令和5年3月末時点で628か所に上ります。

その一方で、ボランティアが主体であるこどもの居場所は、スタッフ、物資、資金など、安定した活動のために多くの課題を抱えています。

さらに、現場で困っている子ども達を目の当たりにして「子ども達のためにもっと何かできないか」と思っても、個々の団体の活動には限界があり…という悩みを抱える団体も少なくありません。

そのような中、近年は団体間の相互扶助やスケールメリットを求めて、地域でのネットワーク化が進んでいます。

埼玉県も、地域ネットワークの重要性に着目し、令和5年度からネットワークの立ち上げを支援する補助事業を実施しています。

地域内での課題が解決され、地産地消の支援が行われ、こどもの居場所の運営の安定化や、新たな拠点の開設を後押ししてくれる、そんな地域ネットワークづくりを県は応援しています。



地域ネットワークの主な効果

- ・運営者…加盟団体間で支援物資や助成金情報等の共有
⇒運営の安定化
- ・利用者…加盟団体が持つ資源がシェアされ、ニーズに寄り添った多様な支援の展開
⇒1人1人に対するきめ細やかな支援
- ・支援者…窓口が1本化されることでスムーズな寄附の手続き
⇒大規模な種類・量の寄附

立ち上げ～安定的な運営までのアクション

立ち上げに向けて

1. ネットワークのイメージを描く

活動の活性化?

なぜネットワークをつくるのか、目的と対象を整理

2. 仲間を募る

課題の解決?

同じ思いを持つ仲間ネットワークの立ち上げを呼び掛ける

Q どうやって仲間を探す？

- ⇒ ・社協や市民活動センター等で情報収集
- ・NPO 法人に関する情報は「NPO コバトンびん」HP 参照 (<https://www.saitamaken-npo.net/>)
- ・こどもの居場所団体の情報は「こども応援ネットワーク埼玉」HP参照 (<https://kodomooouen.pref.saitama.lg.jp/>)



3. 一度集まって意見交換

共通の課題を洗い出し、ネットワークが目指す方向性、具体的にやりたいことを共有する。

地域ネットワーク立ち上げ

安定的な運営に向けて

資金調達… 基金の設立、法人化による信用力の向上等

場所確保… 倉庫の機能やこどもの居場所としての機能を備えた
中間拠点の整備等

認知拡大… HP作成、市報等への掲載、チラシやノベルティの配布等

人材育成… 研修会や意見交換会の開催等